

競技注意事項（大会申し合わせ事項）

本大会は、障がいの有無に関係なく一緒に競技することで理解を深めることを主旨としています。各種目に異なる障がいを持つ競技者が参加しています。障がい特性により競技規則が認められた範囲内で配慮がされることがあります。

種目		100m		400m		1500m		5000m		走幅跳		計
障がい種別	クラス	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
視覚障がい	T11	1	1		1							3
	T12	3	1							1		5
	T13	1		1								2
知的	T20	18	3	9		6	3	4		4	3	50
脳原性まひ(車いす)	T33	1										1
	T34	5	3	5	3							16
脳原性まひ(立位)	T36	1										1
	T37		2	1		1				1		5
	T38		1		1						1	3
上肢機能障がい(立位)	T45	1										1
	T46	2										2
	T47	3	3	1						2		9
機能障がい(車いす)	T52	5		4								9
	T54	6	5	6	5	5	1	4				32
切断(義足使用)	T61		1								1	2
	T62	1										1
	T63	8	3						1	4	2	18
	T64	6	3							2	1	12
聴覚	T70	3	2	3	2		1	1		3	1	16
IMP(クラスを保有していない競技者)		5	1	1								7
計		70	29	31	12	12	5	9	1	17	9	195

この競技注意事項は2つの対象に向けて書かれています。「全競技者対象」の部分はすべての参加者に共通の内容です。障がいを持つ競技者は「パラ競技者対象」の項も適用となります。

1. 競技規則について

【全競技者対象】

2022 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施します。ただし、パラ種目競技者については、立位・車いすの部で該当する競技クラスにおいて、2022-2023 World Para Athletics (WPA)競技規則が適用されます。

日本陸連公認の部の選手の衣類については、日本陸連広告規程が適用されます。ただし IPC 登録者で WPA 公認対象種目では、WPA 広告規程が適用されます。それ以外のパラ種目競技者については、WPA、World Athletics(WA)どちらの広告規程でも可とします。チーム名については、規程内の「国名」の項を適用します。なお、基準を超える商標についてはテープ等で隠すことになるので、その旨ご了承ください。

本競技会期間中における競技開始前の練習においても同様とします。

【パラ競技者対象】

WPA 公認競技会(エンドース)として開催のためパラ競技者のなかで IPC に登録し国際クラス分けステータ

スが C または R の記録は WPA 世界ランキングの対象となります。ただし、本競技会では SIS 使用をはじめ必要条件を満たさないためパラ世界記録・アジア記録は公認対象外となります。

2. 受付について

【全競技者対象】

競技者受付は、2階正面入口エントランスに設置します。ただし車いす競技者のみ 1 階、B ゲート脇でおこないません、受付開始は、8時です。

3. 練習会場について

【全競技者対象】

- ① 本競技場には、ウォームアップ用競技場(サブトラック)はありません。
- ② 8:00～9:30、競技場のトラック全周を使っての練習が可能です。内側4レーンは車いす競技者、外側4レーンは立位競技者用とし、コーンで仕切ります。
- ③ 上記の時間以外の競技中は、バックストレート、トラック外側のコーンで示されたエリアでのみ立位競技者のウォームアップが可能です。また、100m 競走実施中に限り、バックストレート側のトラックも、使用可能です。
- ④ 逆走や走路にとどまる等、危険をともなう行為を避けてください。
- ⑤ ウォーミングアップ終了後は速やかに退場してください。
- ⑥ このエリアに留まっただけの観戦や応援は認めません。
- ⑦ ウォーミングアップのため競技区域内へ移動する際はスタンド裏の競技場プロムナードの階段を通行して Aゲートから入場、ダッグアウト下通路を通過して(階段や急なスロープの通行に不安や支障のある方はグラウンド隅の通行も可)移動し、終了後はAゲートから退場することとします。なお、エレベーターの使用については階段の通行に支障のある方を優先してください。
- ⑧ ウォームアップ中やそれに伴う移動の際は、競技役員の指示に従い、事故のないよう十分に注意してください。

【パラ競技者対象】

- ⑨ 車いす競技者で 400m 以上の種目では、希望すればレース前に 1 周可能です。

4. 各種書類について

【全競技者対象】

「欠場届」「上訴申立書」の配布および受付は「TIC」にて行います。(TIC は競技場2階正面、競技者受付脇に設置します)

「重複出場届」の配布および受付は「招集所」にて行います。

【パラ競技者対象】

上記に加え、「リクエスト・フォーム(ルールにないアシスタントの入場など)」の配布および受付は、「TIC」にて行います。

また、「補助申請書(スターティング・ブロック設置申請、マーカー設置申請等)」の配布および受付は「招集所」

にて行います。

5. 招集について

【全競技者対象】

- ① 招集所は競技場 A ゲート内側に設けます。
- ② 下記の招集開始時刻に招集所に集合してください。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻の 30分前	15 分前
フィールド競技	競技開始時刻の 40分前	30 分前

- ③ 競技者はそのまま競技ができる服装にアスリートビブス(ナンバーカード)をつけ、必要に応じて防寒着等を着用して集合し、荷物はスパイク(必要な場合のみ)、水筒やペットボトル、タオル、帽子等、最低限にしてください。また、マスクは競技を行う際そのまま置いておくことのないよう衣類のポケットやケース、袋等に入れる、他の荷物の中に挟むなど感染症予防に留意してください。また、シューズ袋など類似品の多いものについては記名や目印をつける等、他者の持ちものと取り違えることのないよう、注意してください。なお、競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場所で行ってください。
- ④ 代理人による招集は一切認めません。
- ⑤ 招集所では、アスリートビブス、スパイク、衣類・バックなどの商標、車いす、所持品、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス(各自で準備)のチェックを受けてください。また、トラック競技に出場する競技者にはレーンナンバー標識(ステッカー)を支給します。なお携帯電話等の機器を競技場内に持ち込むことはできません。
- ⑥ 欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を「TIC」に提出します。
- ⑦ 競技種目が重なり一方の種目の招集を受けられないまたは、招集完了時刻に間に合わない場合は、招集所に重複出場届を提出し、直接競技場所へ移動して当該種目の審判にその旨を伝え、指示に従ってください。
- ⑧ 持ち込み禁止物は招集所で預かり、TIC で返却します。
- ⑨ コーチや付き添い者の招集所への立ち入りは認めません。また、招集所入り口付近の混雑を避けるため特に支障のないかぎり競技者を送り届けた後はその場にとどまらず、直ちにスタンド等へ戻るよう努めてください。

【パラ競技者対象】

- ⑩ パラ競技者は⑤に加えて、車いす競技者はレーサー、ガイドランナーやアシスタントが帯同する場合には専用のビブス(各自で準備)のチェックを受けてください。

6. アスリートビブス(ナンバーカード)について

【全競技者対象】

- ① アスリートビブスは、1 名につき2枚配布します(胸・背用)。
- ② アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けてください。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付ける

だけでも構いません。

- ③ トラック種目では、招集所で配布された腰ナンバー標識を右側の腰に確実に付けます。ガイドランナーも同様です。車いす競技者はヘルメットの右側に付けます。

【パラ競技者対象】

- ④ 車いす競技者は、背用を車いすの後部に付けます。(レーサー使用の選手においては、胸用は付けなくても構いません)。

7. 競技エリアの入退場について

【全競技者対象】

- ① 競技エリアの入場は、招集所で手続きを終え競技役員に誘導された競技者、ガイドランナー、アシスタントのみ可能です。
- ② 招集所から競技エリアへの入場、および競技終了後の退場は競技役員の指示に従います。
- ③ 100mに出場する競技者は、競技終了後、フィニッシュ地点からトラックの外側の部分(雨天時はダッグアウト下通路)を反時計回りに通行し、バックストレート側を通過してスタート地点に戻り、それぞれの荷物を回収してAゲートから退場します。
- ④ 1500m、5000mに出場する競技者は、競技終了後、反時計回り通行し、荷物を回収してBゲートから退場します。
- ⑤ 400mに出場する競技者は、競技終了後、荷物を回収してBゲートから退場します。
- ⑥ 走幅跳については、競技終了後、競技役員の誘導によりAゲートから退場します。
- ⑦ 上記③～⑥の経路を基本としますが、競技役員の誘導がある場合はこの限りではありません。

8. 競技について

【全競技者対象】

- ① スパイクピンの長さは、9mm以下とし、走高跳の場合は、12mm以下とします。
- ② 招集完了後は練習を含めすべて競技役員の指示に従います。
- ③ 競技者は、勝手に競技場所を離れることはできません。
- ④ 不適切な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外されます。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされます。

【パラ競技者対象】

- ⑤ 両足義足使用の競技者(T61、T62)は、招集時にMASH(最大許可身長)の計測を行います。

⑥ トラック競技

【全競技者対象】

- i. 記録会のため、トラック種目は予選・決勝の実施はありません。
- ii. レーン順は、プログラムに記載のとおりとします。
- iii. 5000mは、女子と男子での同時スタートとなります。

- iv. 立位のトラック種目は、申込時の申告(目標)タイム順で組み分けを行っているため、障がいのある競技者となない競技者が一緒に競技を行います。
- v. 短距離種目では、衝突事故を防止するためフィニッシュ後も自身のレーンを走ります。
- vi. 制限時間を設けます。スタートから下記の時間で競技を打ち切ります。

	男子
立位の5000m	30 分
車いすの5000m	20 分

- vii. プログラム進行上支障をきたす場合は、競技を中止させる場合があります。

【パラ競技者対象】

- viii. T11、T12のレーンを用いるトラック種目では、ガイドランナー(伴走者)がいる場合、2つのレーンが割り振られます。
- ix. 車いす競技者は、ヘルメットを着用します。なお、生活用車いすを使用することもできます。

⑦ スタート

【全競技者対象】

- i. スタートの合図はすべて英語(「On Your Marks」「Set」)で行います。
- ii. トラック競技はすべて写真判定システムを使用します。
- iii. 競技規則 17 条により、1 回目の不正スタートで失格となります。
- iv. 聴覚障がいのある競技者で、日本デフ陸上競技協会への使用申請が受理された場合、光刺激システム(スタートランプ)を使用します。

⑧ アイマスク、アイパッチ

【パラ競技者対象】

T11の競技者は、完全に光を遮断し隙間なく顔に密着する不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、およびその下に「アイパッチ」を着用して競技しなければなりません。検査は招集時に行いますが、スタート地点、並びにフィールド競技場所で再検査を行う事があります。

⑨ ガイド、およびアシスタント **【パラ競技者対象】**

- i. ガイドランナーおよびフィールド種目のアシスタントは、各自で用意したビブスを着用します。ビブスは招集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能です。
- ii. T11、T12の競技者とガイドランナーは、常にテザー(ガイドロープ)でつながっていません。違反した場合は失格となります。
- iii. T11、T12のガイドランナーが競技者の推進を助ける助力を加えた場合、またフィニッシュ時に競技者が先行しなかった場合には、ガイドランナーによる違反として競技者は失格となります。
- iv. T11、T12の跳躍競技においては、アシスタントを同行させることができます。T11の跳躍は2名以内、それ以外は1名です。アシスタントは、ルール上支障がない限り競技者を誘導することができますが、競技成立以前に「砂場」に侵入し競技者を誘導した場合は、アシスタントによる違反となり、その試技は無

効試技となります。

- v. T12、T20、T35-38、T42-47、T61-64のトラック競技においては、招集時にスターティング・ブロックの位置を示す指定の「補助申請書」を「招集所」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができます。
- vi. T20、T35-38、T42-47、T61-64の走幅跳においては、招集時に助走路に置くマーカールの位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカールを設置することができます。

⑩ フィールド競技

【全競技者対象】

- i. 走幅跳の組別に8人を超える競技者が競技を行う場合には、各競技者に3回の試技が許され、有効な成績を得た上位8人の競技者には、さらに3回の試技が許されます。競技者が8人以下の場合には、各競技者に6回の試技が許されます。

⑪ 車いす競技

【パラ競技者対象】

- i. 車いすの検査は招集時に行いますが、スタート地点で再検査を行う事があります。
- ii. 車いすの競走競技に出場する競技者は、必ずヘルメットを着用してください。
- iii. セパレートレーンでのトラック種目においては、車いす(レーサー)は、トラック内側(左側)の白線ラインに接触した際はハンドリム(プッシュリム)を2回押す間は許されるが、それを超えて押した場合は失格となります。
- iv. セパレートを走らない種目において、車いす(レーサー)は、トラック内側(左側)に侵入して走行した際は、1度目は許されるが、それ以上は失格となります。

⑫ 失格

【全競技者対象】

競技規則 8 条 2 および 17 条 5 による警告を 2 回受けた競技者は失格とし、本競技会における以後のすべての種目に出場できません。

9. 競技用具について

【全競技者対象】

競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければなりません。

【パラ競技者対象】

ただし、不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、アイパッチ、テザー及びガイドランナー、アシスタントのビブスは各自で用意してください。主催者による貸し出しは一切行いません。持参忘れ、破損や規則に合致せず使用できない場合は、WPA ルールにより DNS(欠場)として扱います。

10. 抗議と上訴について

【全競技者対象】

競技中の判定について、競技者自身が審判長に対し、競技場所で直ちに抗議できます。競技後は、記録の公式発表から30分(大型スクリーン表示時刻を基準とする)以内に競技者自身または代理人が TIC に口頭で申し出てください。審判長が判定し、TIC を通じて裁定を伝えます。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金(1万円)を添え、TIC を通じてジュリー(上訴審判)に申し立てを行ってください。


11. 表彰について

【全競技者対象】

表彰は行いません。なお、希望者には記録証を1部300円で発行しますので10:00~15:00に、TIC へ申し込んでください。郵送等を行いません。

12. 一般注意事項

【全競技者対象】

- ① トレーナブースは開設しません。
- ② 競技結果および番組編成リストは TIC に掲示します。また、速報サイトにも掲載します。
<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>
QRコードもご利用ください。
- ③ プログラムに誤記がある場合は、出場する競技の2時間前までにTICに申し出てください。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用しています。(受付用紙は TIC に置きます)。
- ④ 悪天により競技を一部中断もしくは中止することがあります。
- ⑤ 各種目の記録については、2023年3月16日時点のものです。
- ⑥ 撮影についてのお願い:悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限ります。
 - 1) 大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン
 - 2) 出場競技者の学校、クラブ等の関係者や保護者、家族等
 - 3) 大会事務局また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできません。
なお、場合によっては、上記に該当するか確認することがあります。
- ⑦ 大会期間中撮影した画像・映像は、主催者および協賛社の広報、またその他陸上競技普及に関する広報に使用することがあります。
- ⑧ 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡してください。ただし、大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に十分留意してください。なお、主催者において期間中の傷害保険に一括加入しているため、この保険が適用される場合があります。

⑨ 救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営本部および競技場側を通じて行うものとします。

⑩ 競技場

- i. 競技場の関係者入口の開門は7:30、閉門は17:00とします。
- ii. 競技場の観客席の開門は8:00、閉門は17:00とします。
- iii. 貴重品及び荷物は各自で管理してください。万一の事故があっても責任は負いません。
- iv. 届けられた遺失物は TIC で競技終了まで保管します。
- v. 競技会場における広告及び展示物に関する規定にもとづき、スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は一切認めません。
- vi. 応援において、周囲の観客へ応援グッズを配布すること、応援グッズに所属企業名(スポンサー名)の露出をすることを禁止します。(ただし、本競技会スポンサーはその限りではありません)。
- vii. 競技場の環境美化に協力してください。各自出したゴミは持ち帰ってください。
- viii. 競技場及び競技会で使用できる施設以外への立ち入りは禁止します。

⑪ 更衣室など

- i. 更衣室は、極力三密を避けて使用してください。
- ii. 更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定し、3AB更衣室を男子用、2AB更衣室を女子用とします。
- iii. 更衣室への移動の際は立位競技者は、スタンド正面入口に入って左側の階段の通行を基本とし、利用します。更衣室から先の屋内廊下を通行することは禁止します。ただし、階段の通行に支障や不安のあるかたについては、Aゲート側のエレベーターの使用とAゲートから更衣室までの屋内廊下の通行を認めます。なお、これらに該当しない屋内廊下の通行は更衣室を利用する場合を除き競技役員の誘導がないかぎり禁止とします。
- iv. 更衣室への付き添いは競技者が1人で移動や更衣ができない場合のみ、1競技者につき1名に限り許可します。

⑫ 靴底の厚さ

【全競技者対象】

- ・規定を超えるシューズでの出場は認められません。
- ・障がい特性により医療目的の中敷き無しでは競技が困難な競技者は、TIC にリクエストフォームを提出し許可を得てください。

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>